

証券コード: 5938

LIXIL
Link to Good Living

2016年3月期 第2四半期決算説明資料 (2015年4月-9月)

2015年11月2日

株式会社 **LIXILグループ**

この資料には、(株)LIXILグループの将来についての計画と予測の記述が含まれています。これらの計画と予測は、リスクや不確定要素を含んだものであり、実際の業績は様々な重要な要素により当社の計画・予測と大きく異なる結果となる可能性があります。

※2015年9月第2四半期の国際会計基準(IFRS)ベースの実績は速報ベースのため、変更になる可能性があります。

Copyright © LIXIL Group Corporation. All rights reserved.

LIXIL

第2四半期(上期)連結業績結果(1)

上期 売上・事業利益(日本基準:営業利益)過去最高

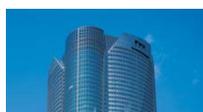
- ✓ 増収(+10%)・大幅増益(2.4倍)(日本基準の売上・事業利益)
- ✓ 事業利益は修正ガイダンスを120億過達(期初予想からは225億上振れ)
- ✓ 国内はリフォーム売上が牽引(+10%、水回りリフォーム+13%)
- ✓ ミックス良化やコスト・販管費低減の進捗及び退職給付数理差異109億(GROHE)が更に利益押し上げ
- ✓ 関係会社投資関連損失は一部(49億)回収
- ✓ 関係会社投資関連損失の追加回収の可能性により、当該税効果計上を下期想定へ変更
- ✓ 上記を踏まえ、通期業績予想も上方修正



LIXIL Water Technology (LWT)



LIXIL Housing Technology (LHT)



LIXIL Building Technology (LBT)



LIXIL Kitchen Technology (LKT)



流通・小売り(D&R)



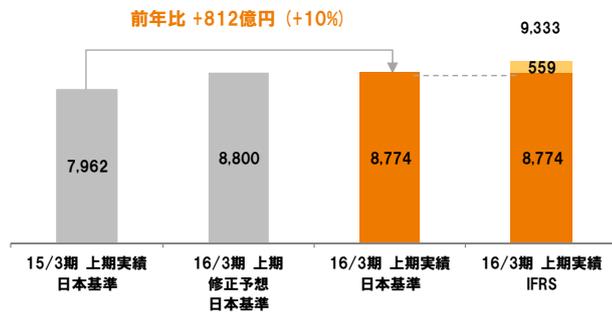
住宅・サービス(H&S)

Copyright © LIXIL Group Corporation. All rights reserved.

第2四半期(上期) 連結業績結果(2)

売上

億円

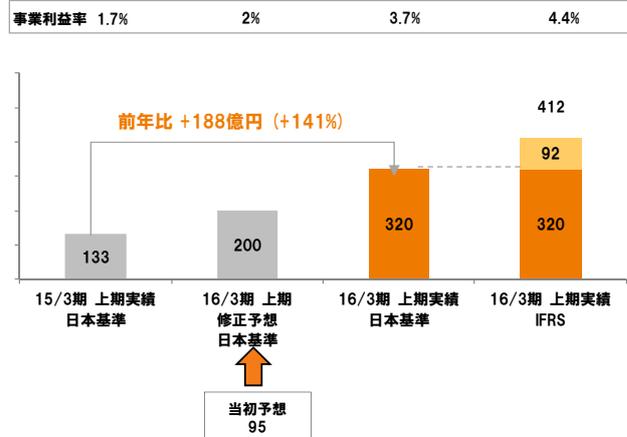


上期のハイライト(日本基準)

- 上期売上は主にLWTやLBTにおける海外の好調な販売が牽引
 - GROHE新規連結 売上影響 451億
 - 既存売上増収 +361億 (+5%)

事業利益(CE)

億円



- ほぼ全ビジネスにおける勢いが上期の事業利益引き上げに貢献
 - GROHE新規連結 CE影響 101億 (GROHE172億、のれん-20億、PPA-51億)
 - 既存CE増益 +87億 (+65%)

テクノロジー部門別 決算の概要

- マネージメントベース
- IFRS 全社同月連結
- 計画為替レート

LWT: 上期 売上8%増、事業利益31%増で業績好調を維持

16/3期 上期 (4-9月)
(US\$百万)

	16/3期上期	対前年成長
アメリカ	567	+9%
欧州、中東、 アフリカ地域 (1)	592	+17%
アジア太平洋地域	357	+9%
日本	1,031	+6%
LWT	2,538	+8%

アメリカ

- リテール、卸ルート共に新商品効果で販売好調
- コスト削減及び新商品・高価格帯好調で利益大幅改善

欧州、中東、アフリカ地域

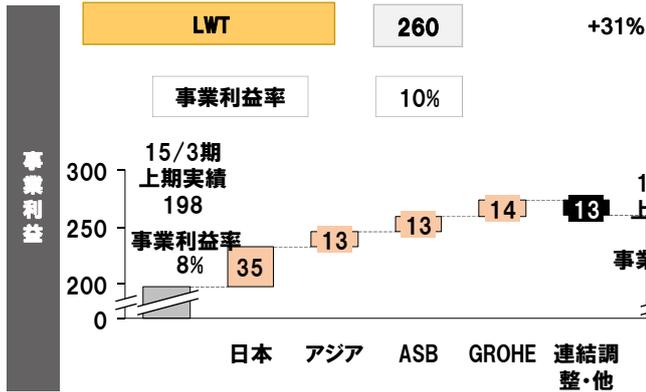
- 南ヨーロッパを除き販売好調
- コスト・販管費低減 継続
- GROHE DAWNを除いた成長率 5%

アジア太平洋地域

- 中国7%増収
- ベトナム・タイ・韓国中心に成長継続

日本

- LWTリフォーム+12%が牽引し増収
- MIX・売価改善で利益率改善



(1) GROHE DAWN WaterTech (サブサハラ)は15/3期上期実績からは除いています。
Copyright © LIXIL Group Corporation, All rights reserved.



システムバスルーム「SPAGE」販売好調

LHT: 上期 売上3%減にも拘らず 事業利益27%増という強い利益成長を達成

16/3期 上期 (4-9月)
(億円)

	16/3期上期	対前年成長
ウィンドウシステム 事業本部 (WS)	1,021	+4%
エクステリアシステム 事業本部 (ES)	762	-11%
リビングシステム 事業本部 (LS)	728	-4%
海外事業本部	115	-3%
子会社・連結消去等	292	-4%
LHT	2,924	-3%

ウィンドウシステム事業本部

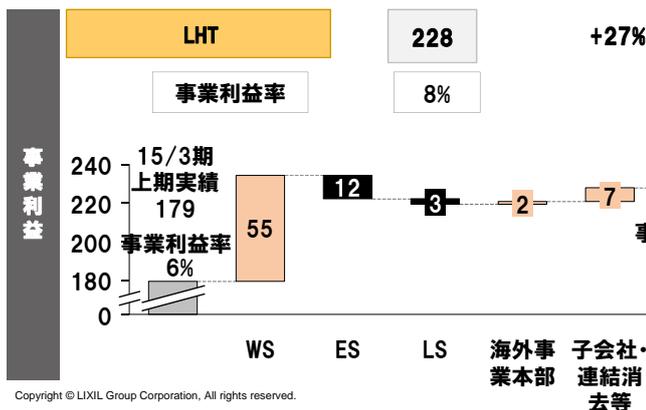
- 省エネ住宅ポイントの追い風もあり1Qに続き販売好調
- コスト削減効果も相まって円安影響を跳ね返し、粗利2ポイント改善

エクステリアシステム事業本部

- 新築需要減少の影響と前年特需の反動で減収・減益

リビングシステム事業本部

- 新築需要減少の影響で減収も利益は前年並み



Copyright © LIXIL Group Corporation, All rights reserved.



高性能ハイブリッド対応「サーモスX」が
「2015年度グッドデザイン賞」受賞

LBT: 好調な海外事業により売上成長9%を達成、利益はプロジェクトサイクル及び中国事業の影響を受け減益

16/3期 上期 (4-9月)
(百万ユーロ)

16/3期上期

対前年成長

地域別売上	売上 (百万ユーロ)	対前年成長
ベルマ	765	+10%
LBT Japan	348	+3%
LBT Asia	84	+17%
LBT	1,196	+9%

ベルマステリーザ

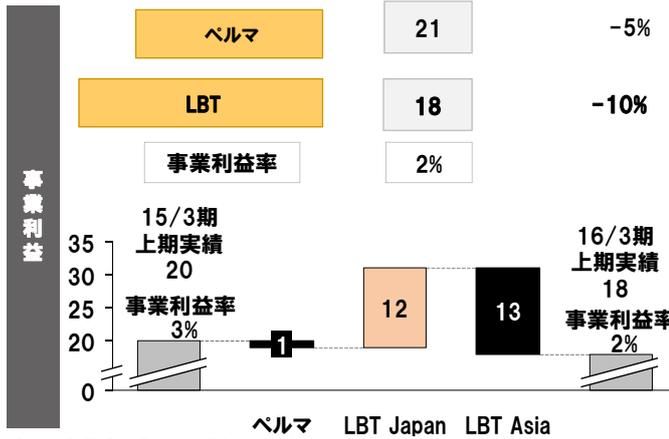
- 北米・イギリス中心に売上伸長
- 高利益物件の進捗が序盤のため利益改善未発現

LBT Japan

- 都市部中心に需要回復
- 上期黒字化達成

LBT Asia

- LIXIL HKが売上牽引
- 上海美特は事業利益10百万ユーロ悪化



International Commerce Centre
<Hong Kong>



Hearst Tower
<New York>

Copyright © LIXIL Group Corporation, All rights reserved.

LKT: Asiaは中国停滞の影響を受けるものの、Japanは事業利益 上期 34億の改善もあり回復基調

16/3期 上期 (4-9月)
(億円)

16/3期上期

対前年成長

地域別売上	売上 (億円)	対前年成長
LKT Japan	492	0%
LKT Asia	48	-6%
LKT	539	-1%

LKT Japan

- 売上: サンウエーブキッチンテクノの昨年度売却影響 6億円除く実質 +1%
- 事業利益: 前年雪害から立ち直り、黒字化 (34億増益)

LKT Asia

- 中国地方都市需要低迷で減収
- 事業利益は3億円の減益

事業利益	事業利益 (億円)	対前年成長
LKT	9	黒字化
事業利益率	2%	



Copyright © LIXIL Group Corporation, All rights reserved.

D&R・H&S: 特に事業利益においてD&R +7%、H&S+9%で業績は堅調

16/3期 上期 (4-9月)
(億円)

対前年成長

D & R ※	売上	855	+3%
	事業利益	56	+7%
	事業利益率	7%	

※建デポを除くベース

H & S	売上	308	+2%
	事業利益	23	+9%
	事業利益率	7%	

D&R

- 11年連続増収、事業利益は過去最高益
- 円安によるコストアップをSCM改善や販管費低減で利益改善
- 15年10月1日付で建デポをカーブアウト (P.12参照)

H&S

- 住宅FCビジネス受注棟数 前年比 +2%
- 新築向けサービスビジネスからストックビジネスへの転換推進により増益



スーパービバホーム
さいたま新都心店



アイフルホームの主力商品「セシボ」

Copyright © LIXIL Group Corporation, All rights reserved.

8

2016年3月期第2四半期(上期) マネジメントKPI 進捗

部門	管理通貨	売上高	前年比 (%)	対計画 (%)	事業利益			
					対計画 (%)	前年比 (%)	対計画 (%)	前年比 (%)
LWT	M\$	\$2,538	8%	3%	\$260	10%	31%	25%
LHT	億円	2,924	-3%	-1%	228	8%	27%	66%
LBT	M€	€1,196	9%	-6%	€18	2%	-10%	-55%
LKT	億円	539	-1%	-6%	9	2%	黒字化	45%
D&R ※	億円	855	3%	0%	56	7%	7%	0%
H&S	億円	308	2%	5%	23	7%	9%	48%
HQ及び連結調整 ※	億円	39	-	-	-152	-	-	-
マネージメントベース合計 ⁽¹⁾	億円	9,512	5%	0%	497	5%	47%	49%
為替レートリスク & PPA ⁽²⁾	億円	-179	-	-	-85	-	-	-
制度連結実績 (IFRS)	億円	9,333	-	-1%	412	4%	-	21%
業績予想 (IFRS) ⁽³⁾	億円	9,400			340	4%		
差異		-67			72	+1P		

(1) 取引レート 1\$=125円、1€=140円
(2) PPA:取得原価配分 (円貨換算レート 1\$=121.5円、1€=134.6円)
(3) 円貨換算レート 1\$=120円、1€=130円
※建デポ調整後

ポイント

- マネージメントベース: 売上は対計画バラツキがあるものの全体ではほぼ計画通り
事業利益はLHTとLWTの上振れ大きく全体でも順調な進捗
- 制度IFRSベース実績: 大きな為替変動もなく業績予想の事業利益を21%上回って進捗

Copyright © LIXIL Group Corporation, All rights reserved.

9

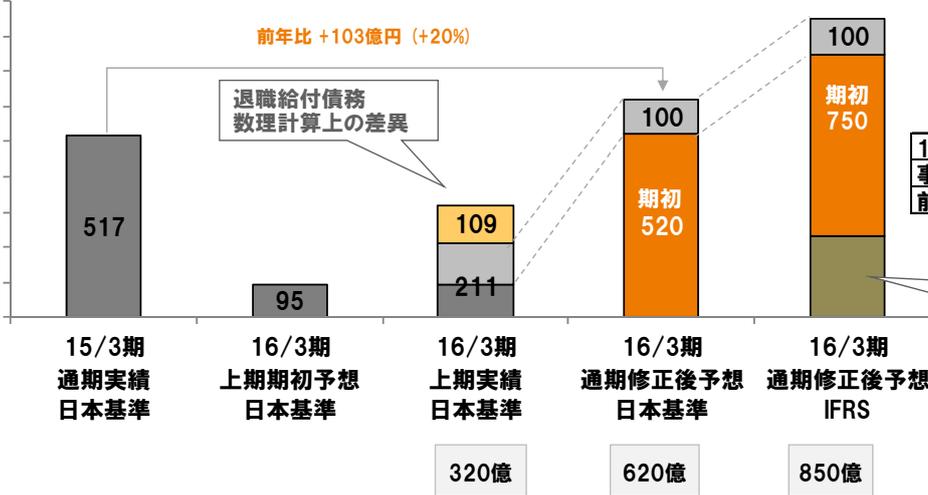
16/3期通期業績予想 事業利益を前年並みから20%増益へ上方修正

売上

16,734億 8,800億 8,774億 18,550億 19,100億

事業利益

億円



- 売上はカーブアウトした建デポ下期売上を控除(150億)
- 金利変動リスクのある数理差異分(109億)は通期予想に反映させない
- 上期本業上振れ分116億のうち保守的に100億通期予想に上乘せ

16/3期	期初	修正後
事業利益率	2.8%	3.3%
前年比	-0.3p	+0.2p

事業利益率	3.1%	3.3%	4.4%
-------	------	------	------

Copyright © LIXIL Group Corporation, All rights reserved.

10

資産効率強化と規律ある資本配分

連結財政状態

運転資本と設備投資

億円	(A)	(B)	(B) - (A)
	GROHE連結後 期首	15/9期末	
現預金	2,448	1,453	-995
有利子負債	8,203	7,345	-858
Net有利子負債	5,755	5,892	138
総資産	22,537	21,551	-986
自己資本比率 (%)	26.3	26.3	0.0

億円	(A)	(B)	(B) - (A)
	14/9 CF	15/9 CF	
運転資本	156	150	-6
減価償却費	236	277	40
設備投資	-280	-295	-15
その他	49	603	554
フリーキャッシュフロー	162	736	574

- 総資産986億円圧縮
- Net D/Eレシオ104% (期首97%)

- 運転資本は売上成長にも拘らず前年並みまで改善
- 保証債務の支払い281億円(ネット)があったもののフリーキャッシュフロー改善

株主還元方針に変更なし

配当金は中間30円 年間60円の予定

Copyright © LIXIL Group Corporation, All rights reserved.

11

「株式会社建デポ」の設立

LIXILで運営していた建デポ事業を2015年10月1日付で分社化し、新会社をスタート。

- 目的
LIXILというメーカーの枠に留まらずに成長を目指す。市場の成長余地が高くまだ圧倒的なプレーヤーが出現していない今のタイミングで成長を加速させる。
- 複数の企業で経営にかかわった小森哲郎氏を代表取締役として招聘。
- 新会社は持分法適用関連会社となる。

新会社の概要

商号	株式会社建デポ
代表	代表取締役社長 小森哲郎
事業内容	会員制建築資材卸売店舗「建デポプロ」の運営
資本金	1億円
出資比率	(2015年10月、議決権ベース) ユニゾン・キャピタル(株) 66% (株)LIXIL 34%
店舗数	64店舗 (2015年10月)
会員数	60万人 (2015年8月)
業績	売上高 308億円、事業利益 -13億円 (2015年3月期 建デポ事業)



Copyright © LIXIL Group Corporation, All rights reserved.

12

国内リフォーム市場の環境変化

【省エネポイント終了】

10月21日 予算905億円消化により受付締切
申し込みのうちリフォームの割合：戸数約54%、ポイント数約27%

【国交省 住生活基本法見直しへ】

2016年3月 閣議決定予定

<現状案> ※国交省HPより

目標1：良質な住宅ストックの形成及び将来世代への継承

- ① 既存住宅ストックの維持と質の向上
- ② 既存住宅ストックの活用
- ③ 不良な住宅等の除去
- ④ 良質な住宅の供給

目標2：ライフスタイルやライフステージに応じた多様な居住ニーズの実現

目標3：住宅の確保に特に配慮を要する者の居住の安定の確保

目標4：良好な居住環境の形成による地域の価値の向上と豊かなコミュニティの形成



ストック活用重視へシフト

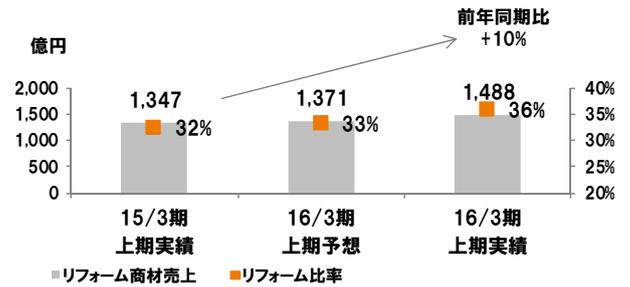
Copyright © LIXIL Group Corporation, All rights reserved.

13

国内リフォーム戦略の進捗

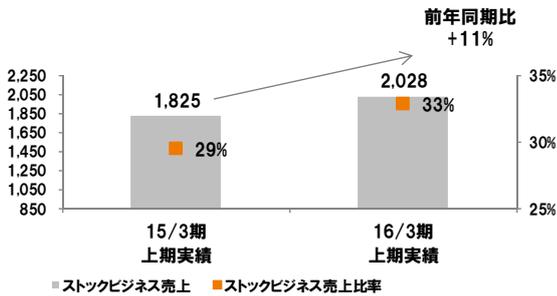
リフォーム商材売上 (LJC)

億円	14/3期 実績	15/3期 実績	前年 同期比	16/3期 上期実績	前年 同期比
リフォーム商材 売上	2,826	2,796	-1%	1,488	10%
リフォーム 比率	31%	32%	+1P	36%	+3P



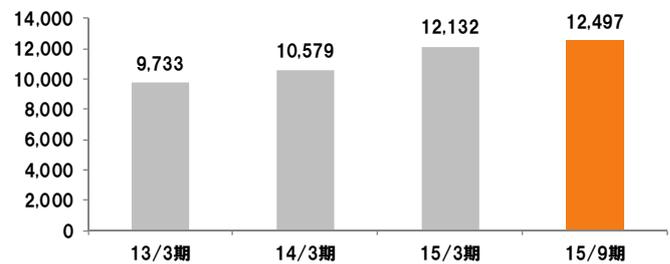
キッチン含む水回りリフォーム: 前年同期比+13%

ストックビジネス比率 (1) 推定



(1) 国内総売上高に占めるストックビジネス売上 (子会社含む)
Copyright © LIXIL Group Corporation, All rights reserved.

LIXILリフォームネットワーク (2) 加盟店推移



(2) フランチャイズ型「LIXILリフォームショップ」とボランティア型「LIXILリフォームネット」との合計

リフォーム販促により効果的な大型旗艦ショールームを名古屋に来春オープン

LIXILと川島織物セルコンの中部地区の旗艦ショールームを
愛知県名古屋市の再開発が進む名駅南エリアに建屋を新設し2016年4月にオープン(予定)

住所: 愛知県中村区名駅南4丁目11番40号 2F-3F

特徴

- 住宅建材・設備機器からカーテンなどのファブリック製品に至るまで、住まいに関する豊富な商材を一度にご覧いただける総合ショールーム
- リフォーム・新築時の製品の選定やご相談の他にも充実したイベントスペースを設置
- お客様がくつろいでいただけるエリアを新設し、お客さまとの積極的なコミュニケーションを図れる場を展開



ご参考 (Appendix)

Copyright © LIXIL Group Corporation, All rights reserved.

A1. 第2四半期(上期) 連結業績結果 (日本基準)

億円

	15/3期 上期実績	16/3期 上期実績	前年比	
			増減	%
売上高	7,962	8,774	812	10%
事業利益 ⁽¹⁾	133	320	188	141%
事業利益率 (%)	1.7%	3.7%	-	+2.0P
当期純利益 ⁽²⁾	34	-229	-263	-
のれん償却前 当期純利益	98	-169	-267	-
のれん償却前 EPS (円)	34	-59	-92	-
EBITDA ⁽³⁾	404	648	244	60%
EBITDA 比率 (%)	5.1%	7.4%	-	+2.3P

- (1) 従来の「営業利益」
 (2) 親会社株主に係る当期純利益
 (3) EBITDA = 事業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

■ 16/3期 上期の事業利益以外の重点項目

<営業外>

- (i) 為替差益とデリバティブ評価損の大部分は一体取引(両立て表示)
- (ii) Joyou事案の「調査・訴訟準備、保険請求費用」を営業外に計上

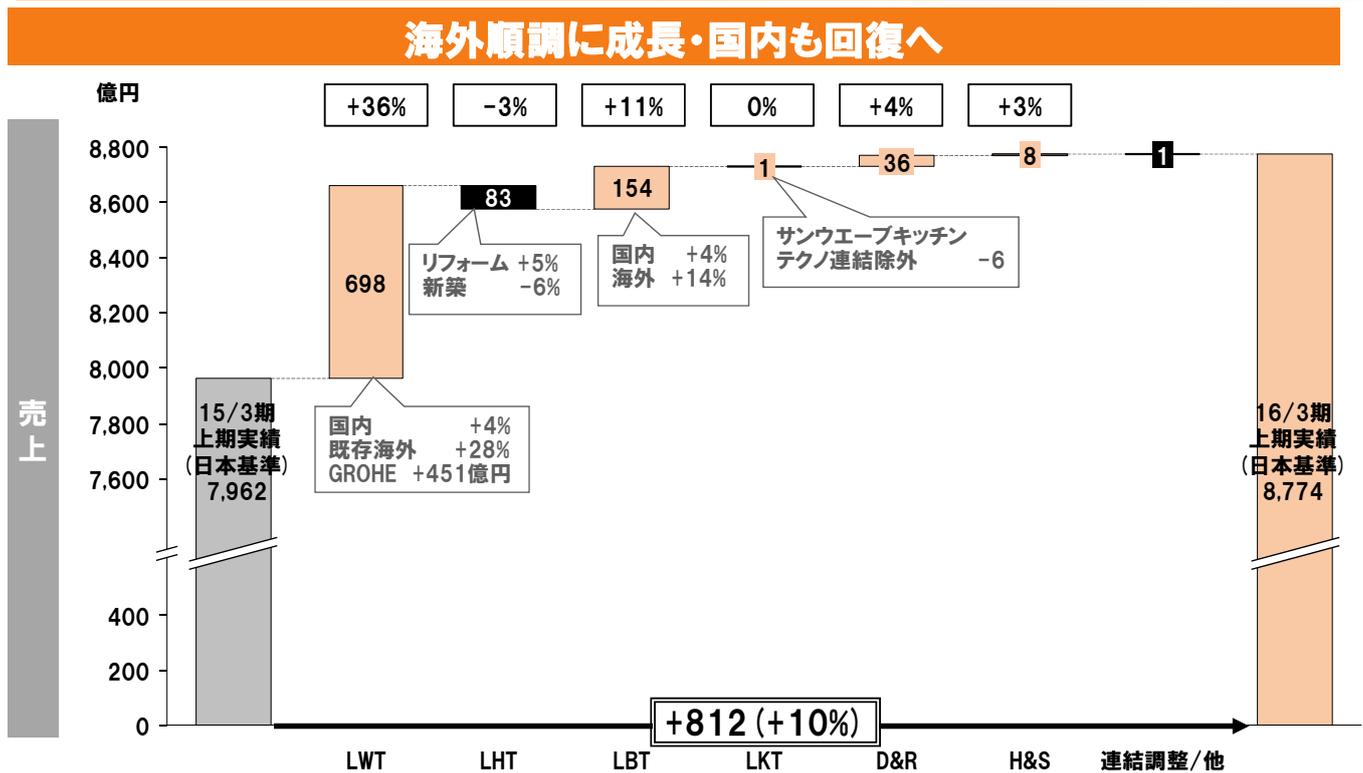
<特別損益>

P.20参照

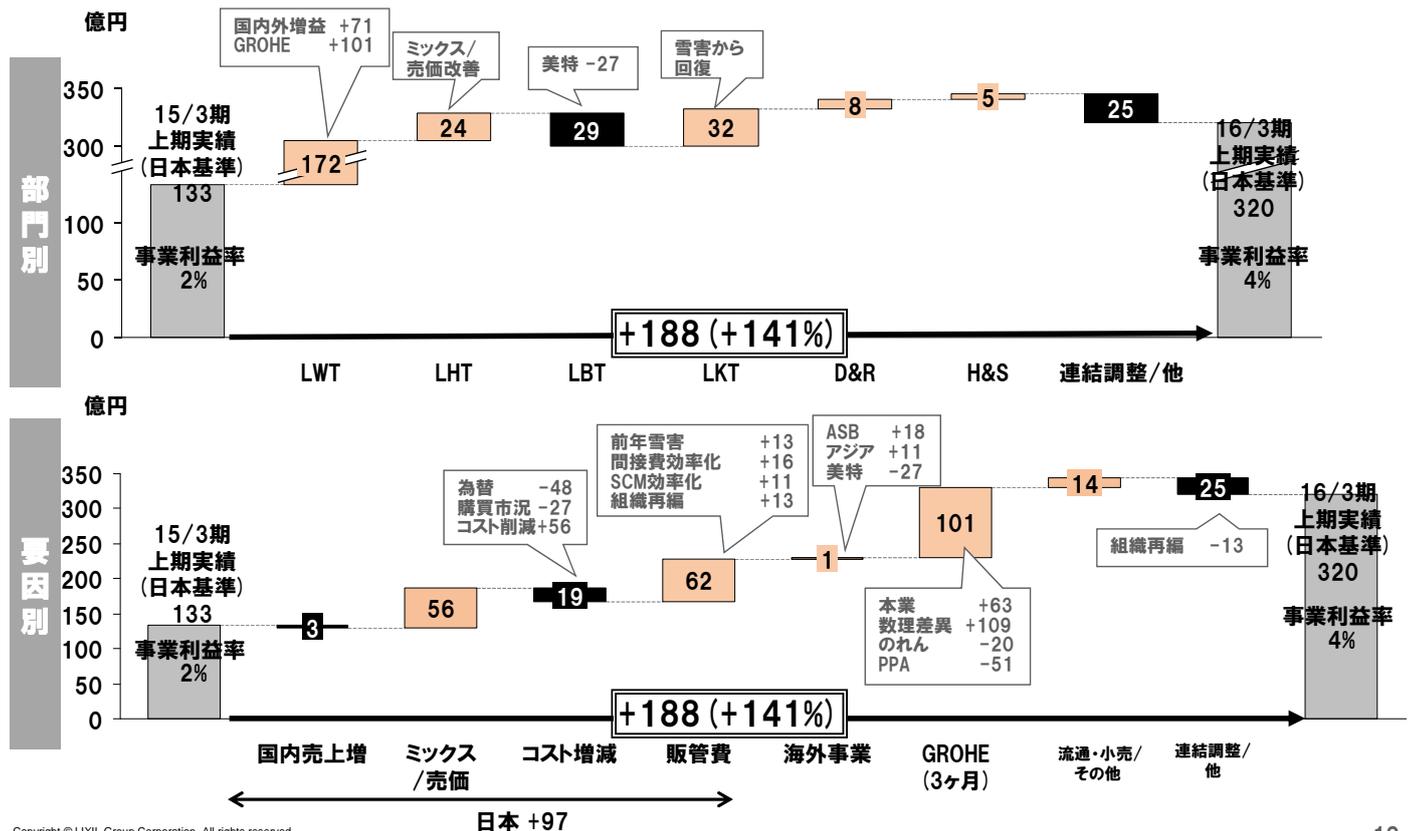
<税金費用>

関係会社投資関連損失(特損281億)の税効果は下期計上予定

A2. 第2四半期 売上の増減 (前年同期差)



A3. 第2四半期 事業利益の増減 (前年同期差)



A4. 特別損益

億円

科目	15/3期 上期実績	16/3期 上期実績	増減額	内容	IFRS項目
投資有価証券売却益	30	2	-28		金融収益及びその他の金融費用
持分変動利益	11	-	-11	K-engine事業分離による	持分法による投資利益
固定資産売却益 他	2	7	5		その他の収益
特別利益	43	9	-34		
減損損失	6	11	5	今期:LKTのれん償却	その他の費用
工場再編関連損失	14	14	-1	前期:中国工場、今期:ASB、ヘルマ、国内	その他の費用
のれん償却額等修正差額	5	-	-5	ASB	-
関係会社投資関連損失	-	281	281	債務保証損失に対する貸倒引当金	関係会社投資関連損失
投資有価証券評価損	-	26	26		金融費用
段階取得差損	-	63	63	GROHE連結子会社化 (為替レート差 141円→129円)	金融費用
固定資産除売却損 他	9	10	0		その他の費用
特別損失	34	404	370		

A5. 連結財政状態 (日本基準)

億円

	15/3月末	GROHE 連結の影響	GROHE連結後 期首	15/9月末	実質 増減額
現 預 金	2,573	-124	2,448	1,453	-995
売 掛 債 権	4,439	287	4,726	4,532	-194
棚 卸 資 産	2,276	307	2,583	2,625	42
有形・無形固定資産	6,495	3,982	10,477	10,609	132
そ の 他	2,970	-668	2,302	2,332	30
総 資 産	18,752	3,784	22,537	21,551	-986
買 掛 債 務	2,330	231	2,560	2,543	-18
有 利 子 負 債	6,760	1,443	8,203	7,345	-858
そ の 他	3,526	1,422	4,948	5,078	130
負 債 合 計	12,616	3,096	15,712	14,966	-746
自 己 株 式	-562	-	-562	-556	6
そ の 他	6,699	688	7,387	7,141	-246
純 資 産	6,137	688	6,825	6,585	-240
自己資本比率 (%)	32.1		26.3	26.3	-0.0P
一株当たり純資産 (円)	2,104.27		2,069.95	1,973.54	-96.41
期末株式数 (千株)	286,352		286,352	286,662	+310

億円

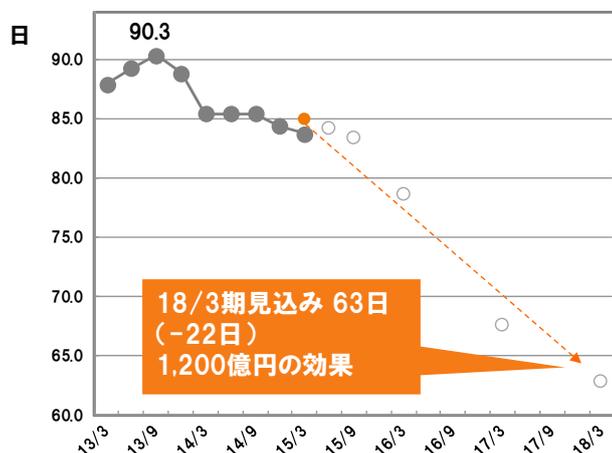
	14/9期末	15/9期末	増減額	16/3期 予想
税金等調整前当期純利益	136	-130	-265	
減価償却費	236	277	40	650
法人税等支払	-129	-122	7	
運転資本	156	150	-6	
その他	-3	88	91	
営業キャッシュフロー	397	264	-133	
投資キャッシュフロー	-235	472	707	
（うち有形・無形資産取得支出）	-280	-295	-15	-800
フリーキャッシュフロー	162	736	574	
財務キャッシュフロー	-207	-1,004	-797	

A7. CCC（キャッシュ・コンバージョン・サイクル）改善のグローバル展開

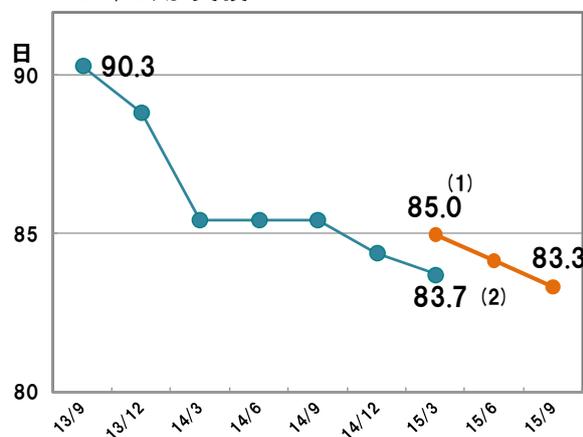
- 国内中心で行ってきたCCC改善活動をグローバル展開し、改善効果を上積みする

18/3期末目標 1,200億円⁽¹⁾

- 新ベンチマークと18/3期末までの見込み



- 15/9期 実績



(1) 15/9 中期戦略“Redefine the Future”にて発表(グローバル施策込み)
 (2) 国内活動のみの効果

A8. 16/3期通期業績予想

億円

	15/3期 実績 (日本基準)	16/3期(日本基準)						16/3期 予想 (IFRS)	IFRS vs 日本基準 通期予想増減	
		上期	増減	本業		増減	通期予想			
				下期予想	増減	数値差異 リスクヘッジ				
売上高	16,734	8,774	812	9,776	1,004		18,550	1,816	19,100	550
事業利益*1	517	320	188	409	25	-109	620	103	850	230
事業利益率	3.1%	3.7%	-	4%	-		3%	-	4%	-
当期純利益*2	220	-229	-263	321	135	-42	50	-170	-	-
のれん償却前 当期純利益	326	-169	-267	401	387	-42	190	-136	-	-
のれん償却前 EPS(円)	112	-59	-92	140	62	-15	66	-45	-	-
EBITDA*3	1,089	648	244	861	176	-109	1,400	311	1,500	100
EBITDA比率	6.5%	7.4%	-	-	-		8%	-	8%	-

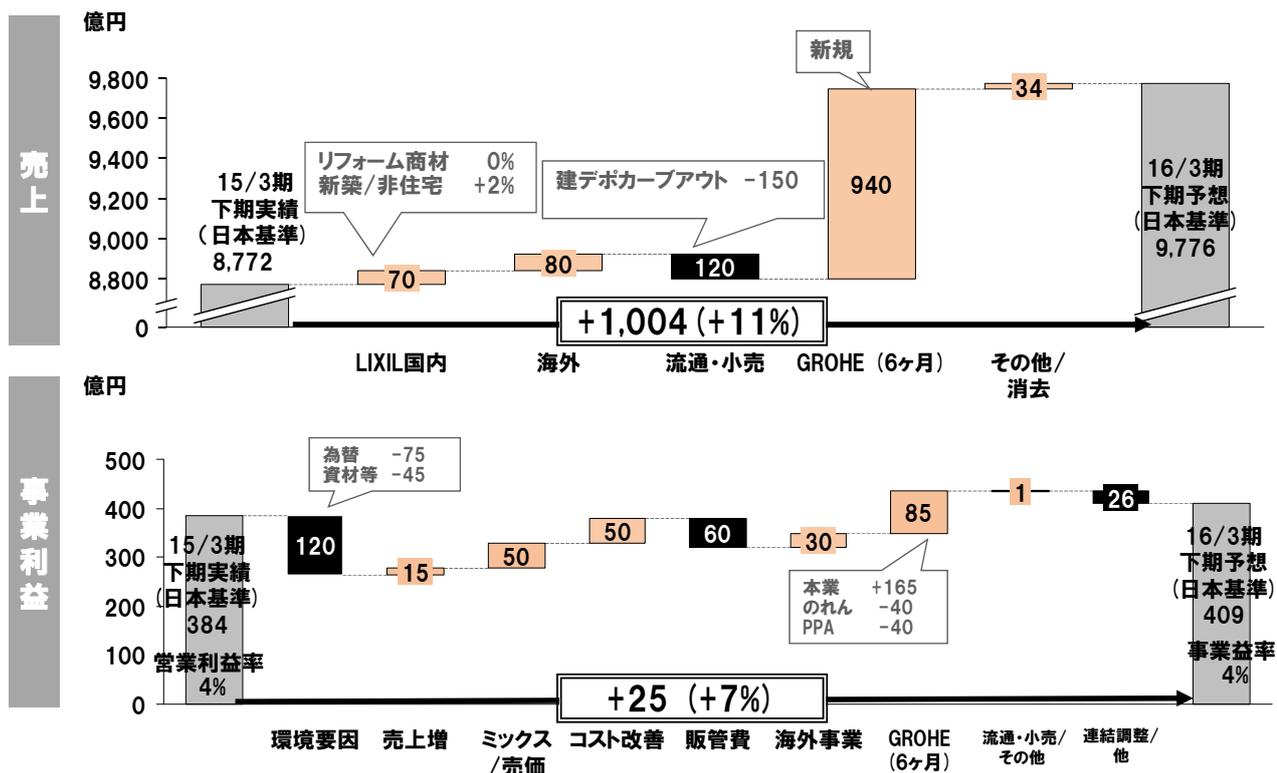
*1 『事業利益』は、日本基準(JGAAP)における『営業利益』と同等

*2 『親会社株主に帰属する四半期/当期純利(損)益』を表す

*3 日本基準では「事業利益+減価償却費+のれん償却費」、IFRS基準では「事業利益+減価償却費」

A9. 2016年3月期 下期 本業 売上・事業利益予想の増減(前年差)

ご参考(従来ベース)





Link to Good Living

2016年3月期 第2四半期（上期）決算＜添付資料＞

※本添付資料における『事業利益』は、日本基準（JGAAP）における『営業利益』と同等

※※本添付資料における『四半期/当期純利（損）益』は、

『親会社株主に帰属する四半期/当期純利（損）益』を表しています

1.	通期実績（新セグメント）	P.1
2.	2016年3月期上期実績と下期および通期予想	P.2
3.	四半期毎の業績推移	P.3
4.	セグメント別状況① テクノロジー事業 （LWT/LHT/LBT/LKT）	P.4
5.	セグメント別状況② 流通・小売り事業の状況	P.5
6.	セグメント別状況③ 住宅・サービス事業の状況	P.6
7.	商品・サービス別売上状況	P.7
8.	リフォーム	P.8
9.	海外生産比率・海外売上	P.9
10.	ペルマスティリーザ	P.10
11.	ASB	P.10
12.	GROHE	P.11
13.	連結子会社数の推移	P.11
14.	のれん	P.12
15.	近年実施したM&A一覧	P.12
16.	IFRS/JGAAPの主要な会計処理相違点	P.13
17.	IFRS/JGAAP段階利益	P.13

2015年11月2日



株式会社 LIXILグループ°

※この資料には、(株)LIXILグループの将来についての計画と予測の記述が含まれています。これらの計画と予測は、リスクや不確定要素を含んだものであり、実際の業績は様々な重要な要素により当社の計画・予測と大きく異なる結果となる可能性があります。

1. 通期実績(新セグメント)

単位:億円

	JGAAP 14/3期 実績 (ご参考)	JGAAP 15/3期 実績 (ご参考)	前年同期比		IFRS 15/3期 実績 (ご参考)	IFRS 16/3期 予想 (概算値)	前年同期比	
			増減	(%)			増減	(%)
LIXIL Water Tech	3,327	4,079	752	22.6%	4,187	6,300	2,113	50.5%
LIXIL Housing Tech	6,326	5,964	-362	-5.7%	6,160	6,000	-160	-2.6%
LIXIL Building Tech	3,211	3,339	128	4.0%	3,482	3,550	68	1.9%
LIXIL Kitchen Tech	1,180	1,137	-43	-3.6%	1,150	1,150	0	0.0%
テクノロジー事業 小計	14,043	14,519	475	3.4%	14,979	17,000	2,021	13.5%
流通・小売り	1,950	1,988	38	2.0%	1,944	1,850	-94	-4.8%
住宅・サービス	649	596	-53	-8.2%	623	650	27	4.4%
調整額	-355	-368	-13	-	-451	-400	51	-
売上高	16,287	16,734	447	2.7%	17,095	19,100	2,005	11.7%
売上総利益	4,478	4,473	-5	-0.1%	4,552	5,550	998	21.9%
売上総利益率	27.5%	26.7%	-	-0.8P	26.6%	29.1%	-	+2.4P
販管費	3,788	3,956	169	4.5%	4,035	4,700	665	16.5%
販管費比率	23.3%	23.6%	-	+0.4P	23.6%	24.6%	-	+1.0P
LIXIL Water Tech	285	291	6	2.2%	260	530	270	103.5%
LIXIL Housing Tech	504	364	-140	-27.7%	347	480	133	38.2%
LIXIL Building Tech	65	93	27	42.0%	57	70	13	21.8%
LIXIL Kitchen Tech	7	-10	-17	-243.4%	-15	20	35	-
テクノロジー事業 小計	862	738	-124	-14.4%	650	1,100	450	69.2%
流通・小売り	46	71	25	54.7%	65	75	10	15.1%
住宅・サービス	61	42	-19	-31.6%	45	50	5	12.1%
全社費用・のれん償却等	-278	-335	-56	-	-243	-375	-132	-
事業利益	691	517	-174	-25.2%	517	850	333	64.3%
LIXIL Water Tech	8.6%	7.1%	-	-1.4P	6.2%	8.4%	-	+2.2P
LIXIL Housing Tech	8.0%	6.1%	-	-1.9P	5.6%	8.0%	-	+2.4P
LIXIL Building Tech	2.0%	2.8%	-	+0.7P	1.7%	2.0%	-	+0.3P
LIXIL Kitchen Tech	0.6%	-0.9%	-	-1.5P	-1.3%	1.7%	-	+3.1P
テクノロジー事業 小計	6.1%	5.1%	-	-1.1P	4.3%	6.5%	-	+2.1P
流通・小売り	2.4%	3.6%	-	+1.2P	3.4%	4.1%	-	+0.7P
住宅・サービス	9.4%	7.0%	-	-2.4P	7.2%	7.7%	-	+0.5P
事業利益率	4.2%	3.1%	-	-1.2P	3.0%	4.5%	-	+1.4P
経常利益	749	579	-171	-22.8%				
税前当期純利益	491	530	39	8.0%				
当期純利益	210	220	11	5.1%				

*ビジネス別事業利益は「のれん償却、取得原価配分前セグメント利益」を表示しています。

2. 2016年3月期上期実績と下期および通期予想

(1)日本基準

単位:億円

	15/3期			16/3期													
	上期 実績	下期 実績	通期 実績	上期						下期予想				通期予想			
				予想	実績	対前年増減額	前年同期比	対予想増減額	予想比	*2	対前年増減額	前年同期比	数理差異 リスクヘッジ	*2	増減額	前年同期比	
売上高	7,962	8,772	16,734	8,800	8,774	812	10.2%	-26	0%	9,776	1,004	11%	-	18,550	1,816	11%	
事業利益 *1	133	384	517	200	320	188	141.2%	120	60%	409	25	7%	-109	620	103	20%	
事業利益率	1.7%	4.4%	3.1%	2.3%	3.7%	-	+2P	-	+1P	4.2%	-	-0P	-	3.3%	-	+0P	
当期純利(損)益	34	186	220	-180	-229	-263	-770%	-49	-	321	135	72%	-42	50	-170	-77%	

(2)IFRS(概算値)

単位:億円

	15/3期			16/3期													
	上期 実績	下期 実績	通期 実績	上期						下期予想				通期予想			
				予想	実績	対前年増減額	前年同期比	対予想増減額	予想比	*2	対前年増減額	前年同期比	数理差異 リスクヘッジ	*2	増減額	前年同期比	
売上高			17,095	9,400	9,333					9,767				19,100	2,005	12%	
事業利益 *1			517	340	412					438				850	333	64%	
事業利益率			3.0%	3.6%	4.4%					4.5%				4.5%	-	+1P	

*1 日本基準では従来の「営業利益」、IFRS基準では「売上-売上原価-販管費」(特損益など一時費用を除いた利益)

*2 通期予想を2015年11月2日に修正

<補足> 為替と原材料価格の実績と前提

	15/3期 実績	16/3期 上期 実績	16/3期 前提
米ドル	110.03円	121.50円	120円
ユーロ	140.71円	135.65円	130円
タイバーツ	3.35円	3.54円	3.72円
中国人民幣元	17.26円	19.36円	20.19円

アルミ価格(購入ベース)	24万円/トン	25万円/トン	27万円/トン
銅価格	59万円/トン	59万円/トン	70万円/トン

3. 四半期毎の業績推移(日本基準)

単位:億円

	2015年3月期			2016年3月期				
	上期		下期	上期				
	1Q	2Q	(ご参考)	1Q	2Q			
				前年同期比		前年同期比		
LIXIL Water Tech	933	1,020	2,126	1,022	9.5%	1,629	59.7%	
LIXIL Housing Tech	1,449	1,503	3,011	1,393	-3.9%	1,476	-1.8%	
LIXIL Building Tech	632	830	1,878	760	20.4%	855	3.1%	
LIXIL Kitchen Tech	255	276	606	252	-0.9%	280	1.3%	
テクノロジー事業小計	3,268	3,629	7,621	3,427	4.9%	4,240	16.8%	
流通・小売り	494	485	1,009	517	4.8%	498	2.6%	
住宅・サービス	141	152	303	148	4.8%	154	1.1%	
調整額	-88	-120	-161	-86	-	-123	-	
売上高	3,815	4,147	8,772	4,006	5.0%	4,768	15.0%	
売上総利益	1,047	1,115	2,311	1,084	3.5%	1,421	27.4%	
売上総利益率	27.5%	26.9%	26.3%	27.1%	-0.4P	29.8%	+2.9P	
販売管理費	999	1,030	1,927	1,020	2.1%	1,164	12.9%	
販管費比率	26.2%	24.8%	22.0%	25.5%	-1.2P	24.4%	-0.4P	
LIXIL Water Tech *	47	56	189	67	43.9%	230	313.2%	
LIXIL Housing Tech *	82	88	195	92	12.6%	101	15.6%	
LIXIL Building Tech *	-14	22	84	-36	-	15	-32.7%	
LIXIL Kitchen Tech *	-17	-9	16	1	-	5	-	
テクノロジー事業小計 *	97	157	484	124	27.4%	352	124.1%	
流通・小売り *	22	13	36	27	22.2%	17	26.3%	
住宅・サービス *	12	9	21	12	6.5%	13	40.1%	
全社費用・のれん償却等	-83	-95	-157	-100	-	-125	-	
事業利益	48	85	384	63	31.6%	257	203.7%	
事業利益率	1.3%	2.0%	4.4%	1.6%	+0.3P	5.4%	+3.3P	
経常利益	45	82	451	54	18.9%	212	158.2%	
四半期純利(損)益	0	34	186	-329	赤字化	100	197.5%	

* ビジネス別事業利益は「のれん償却、取得原価配分前セグメント利益」を表示しています。

4. セグメント別状況① テクノロジー事業（日本基準）
（テクノロジービジネス）

（単位：億円）

		ウォーター テクノロジー	ハウジング テクノロジー	ビルディング テクノロジー	キッチン テクノロジー	テクノロジー 事業計
16/3期 上期	売上	2,651	2,869	1,615	532	7,667
	国内	1,311	2,867	494	492	5,163
	海外	1,339	2	1,122	40	2,504
	のれん償却	25	4	16	4	50
	PPA ^{*1} 償却	54		12		66
	のれん・PPA償却前利益 (%)	343 13%	193 7%	-21 -1%	6 1%	521 7%
15/3期 上期	売上	1,953	2,952	1,461	531	6,897
	国内	1,257	2,952	474	490	5,172
	海外	697	0	987	41	1,725
	のれん償却	8	4	17	4	33
	PPA ^{*1} 償却	3		12		15
	のれん・PPA償却前利益 (%)	102 5%	169 6%	9 1%	-26 -5%	254 4%

■売上高増減内訳

（単位：億円）

		ウォーター テクノロジー	ハウジング テクノロジー	ビルディング テクノロジー	キッチン テクノロジー	テクノロジー 事業計
実質売上高増減		247	-83	154	7	324
(%)		13%	-3%	11%	1%	5%
	国内	55	-85	20	8	-3
	海外	192	2	134	-1	778
新規連結 ^{*2}		451				451
連結除外 ^{*3}					-6	-6

■事業利益増減内訳

（単位：億円）

		ウォーター テクノロジー	ハウジング テクノロジー	ビルディング テクノロジー	キッチン テクノロジー	テクノロジー 事業計
実質事業利益増減		69	24	-30	32	95
売上総利益計		92	-15	8	9	93
国内	売上増減	20	-26	3	1	-3
	ミックス・売価	11	33	12	0	56
	コスト	1	-32	2	10	-19
	うち為替	-8	-40		-1	-48
	うち購買市況	0	-23	-1	-3	-27
海外	ASB	28				28
	ペルマ			3		3
	その他 海外子会社	-1	10	-9	-3	-4
	為替換算影響	32	0	-3	1	30
販管費計	-21	39	-37	23	4	
国内	販管費	8	41	-12	24	62
	ASB	-15				-15
	ペルマ			-2		-2
	その他 海外子会社	12	-2	-22	0	-12
	為替換算影響	-26	0	-2	-2	-29
新規連結 ^{*2}	172				172	

*1PPA:取得原価配分

*2GROHE

*3サンウエーブキッチンテクノ

5. セグメント別状況② 流通・小売り事業の状況（日本基準）

■セグメント売上高とセグメント事業利益 単位：億円

	15/3 上期 実績	16/3 上期 実績	前期比	15/3	
				通期実績	
売上高	979	1,015	3.7%	1,988	
事業利益	35	44	23.7%	71	
うち 建デポ	売上高	151	160	6.2%	308
	事業利益	-8	-3	-	-13

■事業利益増減要因

<上期実績：前年同期比>

単位：億円

15/3期 上期実績	売上増	売価	コスト	販管費	新店費用	建デポ	合計	16/3期 上期実績
35億円	6	3	-4	2	-3	5	+9	44億円

■店舗数

単位：店

	15/3期 通期実績	16/3期		16/3期 通期予想	前期比
		上期実績	前期末比		
SVH 出店数	1	0	-	3	+2
NVH 出店数	0	0	-	1	+1
建デポ* 出店数	2	0	-	-	-
閉鎖店舗数	1	0	-	1	0
期末店舗数	148	148	0	87	-61
内SVH	34	34	0	37	+3
内NVH	9	9	0	10	+1
内建デポ*	64	64	0	-	-
内旧業態	41	41	0	40	-1

*2015年10月より持分法適用会社（株）建デポへ事業移管。

■ホームセンター事業実績

単位：億円

	15/3期 上期実績	16/3期 上期実績	前年同期比
売上高	828	855	3.2%
事業利益	53	56	7.1%
事業利益率	6.4%	6.6%	+0.2P

■ホームセンター店舗売上伸び率

<16/3期 上期実績> 単位：%

全店ベース	+3.2
既存店ベース	+2.8

※既存店 = 13/3期以前開店

■ホームセンター客数、客単価の伸び率

<16/3期上期実績> 単位：%

全店	客数	+0.3
	客単価	+2.9
既存店	客数	0.0
	客単価	+2.8

6. セグメント別状況③ 住宅・サービス事業の状況（日本基準）

■セグメント売上高とセグメント事業利益

単位：億円

	15/3 上期 実績	16/3 上期 実績	前期比	15/3 通期実績
売上高	293	301	2.9%	596
事業利益	21	25	21.6%	42

■ 会社別の売上高と事業利益

<16/3期上期 実績>

単位：億円

	売上高			事業利益		
	15/3期	16/3期	前年同期比	15/3期	16/3期	前年同期比
	上期実績	上期実績		上期実績	上期実績	
LIXIL住宅研究所	121	123	1.6%	6	9	40.6%
日本住宅保証検査機構 (JIO)	56	55	-1.0%	3	4	51.8%
LIXILリアルティ	39	56	44.6%	4	5	38.2%
ジャパンホームシールド	47	51	8.0%	5	5	12.8%
その他・連結組替	30	16	-	4	3	-
住宅・サービス事業	293	301	2.9%	21	25	21.6%

■ 住宅FCにおける契約数と上棟数

(前年数字の計上方法を修正)

契約数

単位：棟数

	15/3期 上期実績	16/3期 上期実績	前年同期比
住宅FC 計	1,973	2,015	2.1%

上棟数

単位：棟数

	15/3期 上期実績	16/3期 上期実績	前年同期比
住宅FC 計	1,644	1,701	3.5%

7. 商品・サービス別売上状況

(単位:億円)

セグメント	主要商品名	15/3期 通期実績	15/3期 上期実績	16/3期 上期実績	前期比 (%)
	バスルーム	876	426	448	5.3%
	洗面化粧台	329	155	159	2.5%
LHT	住宅サッシ	2,012	993	1,019	2.6%
	エクステリア	1,164	609	545	-10.6%
	リビング建材	556	269	278	3.6%
	住宅用外壁	321	165	158	-4.1%
	タイル	294	141	137	-3.1%
	インテリアファブリック	305	143	139	-2.3%
	その他LHT	574	289	239	-17.2%
LBT	ビルサッシ	1,047	434	454	4.6%
LKT	キッチン	1,026	487	492	1.0%
D&R	ホームセンター売上	1,988	979	1,015	3.7%
	海外売上	3,934	1,768	2,590	46.5%
	その他	1,344	644	632	-1.9%
	売上合計	16,734	7,962	8,774	10.2%

(単位:%)

前年同期比					
15/3期				16/3期	
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
0.8	-4.6	-4.3	-13.3	0.7	3.0
1.6	-3.1	-5.4	-8.6	4.0	6.6
5.6	-2.4	-3.1	-11.0	1.1	3.9
-5.2	-5.1	-8.1	-7.4	3.6	1.6
8.3	3.2	-6.4	-17.5	-12.6	-8.4
0.6	-3.8	-8.3	-14.4	2.4	4.7
-5.9	-16.4	-12.3	-23.7	-6.0	-2.2
0.6	-3.1	-6.9	-7.7	-3.7	-2.5
-1.2	-6.9	-8.7	-6.0	-12.0	6.4
3.0	4.5	-21.8	-9.9	-12.4	-21.2
4.0	-2.2	0.5	-4.5	8.3	2.4
-5.3	-8.4	-6.8	8.8	0.4	1.6
2.6	6.4	5.4	-6.3	4.8	2.6
64.1	42.4	26.6	18.6	21.8	68.3
-1.4	-0.6	-0.6	-14.6	4.3	-7.6
9.5	5.5	1.1	-3.1	5.0	15.0

※ テクノロジー事業体制への移行に伴い、並び順と一部区分を変更しました。

8. リフォーム

ストックビジネス比率推定

単位:億円

	15/3期		16/3期	
	上期実績	前年同期比	上期実績	前年同期比
ストックビジネス売上	1,825	3%	2,028	11%
国内総売上高に占める 比率(子会社含む)	29%	+1P	33%	+3P

リフォーム商材売上

単位:億円

	14/3期	15/3期	前年同期比	16/3期			16/3期	前年同期比
	実績	実績		上期実績	前年同期比	計画比	計画	
リフォーム商材売上	2,826	2,796	-1%	1,488	10%	9%	2,900	4%
リフォーム比率	31%	32%	+1P	36%	+3P	+3P	33%	+1P

リフォームネットワーク加盟店数

単位:店

フランチャイズ型	13/3末 実績	14/3末 実績	15/3末 実績	15/9末 実績
LIXILリフォームショップ	377	376	424	451

*15年4月に「LIXILリフォームチェーン」から変更

単位:店

ボランティア型	13/3末 実績	14/3末 実績	15/3末 実績	15/9末 実績
LIXILリフォームネット	9,356	10,203	11,708	12,046

9. 海外生産比率・海外売上

海外生産比率

生産品目	所在地	海外生産比率	
		15/3期 実績	16/3期 上期実績
住宅用アルミサッシ	タイ・ベトナム	27%	22%
リビング建材	中国	43%	41%
衛生陶器	中国・ベトナム	43%	43%
水栓金具	中国・ベトナム	14%	12%
床タイル	中国・ベトナム	53%	55%

海外売上

単位:億円

地域	15/3期 上期実績			16/3期 上期実績				
	売上高	ペルマ除く 実績	ペルマ 実績	売上高	ペルマ除く		ペルマ 実績	
					前期比	前期比		
Greater China	357	227	130	407	14.0%	260	14.4%	147
タイ	72	60	12	92	26.4%	85	40.4%	7
ベトナム	39	39	0	48	23.3%	48	23.6%	0
韓国	47	46	1	62	32.8%	62	35.2%	0
その他アジア	86	38	48	114	32.3%	70	85.2%	44
中東	147	0	147	135	-8.6%	70	-	65
北米	696	461	235	983	41.2%	614	33.2%	369
ヨーロッパ	261	2	259	566	116.9%	252	-	314
その他	62	23	39	183	196.4%	130	473.1%	53
合計	1,768	895	873	2,590	46.5%	1,591	77.6%	999

ご参考:海外販売比率

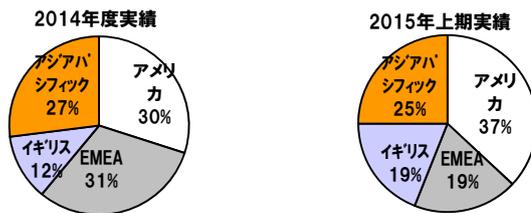
単位:億円

年度	12/3期 実績	13/3期 実績	14/3期 実績	15/3期 実績	16/3期 上期実績
海外売上高	539	2,051	2,939	3,934	2,590
比率	4.2%	14.3%	18.0%	23.5%	29.5%

10. ペルマスティリーザ

通期=2014年実績まで1月～12月

■売上高構成比

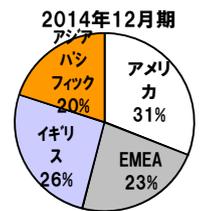


*EMEA=その他欧州、中東、アフリカ地域

■ペルマスティリーザ社の業績推移

	14/12期 上期実績 (日本基準 1-6月)	15/12期 上期実績 (日本基準 1-6月)	前年同期比	単位:億円
				16/3期 予想 (IFRS 4-3月)
売上高	888	1,033	16%	2,067
事業利益	14	17	20%	96
	%	1.6%	1.7%	+0.0P
のれん等償却	29	28	-2%	22
連結影響事業利益	-14	-11	-	74
為替レート 円/ユーロ	140.6	135.7	-	130

■新規受注構成比

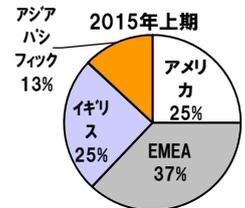


■のれん等

	単位:百万ユーロ			償却年数
	15/3期 期末残高	16/3期 上期償却額	期末残高	
のれん	192	12	180	11年
無形固定資産	187	9	178	4~20年
合計	379	21	358	

■受注状況

	単位:百万ユーロ	
	14/12期 上期実績	15/12期 上期実績
新規受注	714	1,098
期末残高	2,013	2,541



11. ASB

通期=13年度まで1月～12月

14年度から4月～3月

■ASB社の業績推移 (円建て)

	単位:億円		
	15/3期 上期実績	16/3期 上期実績	16/3期 予想
売上高	474	617	1,177
事業利益	12	30	30
	%	3%	5%
のれん等償却	7	9	6
連結影響事業利益	5	21	24
為替レート 円/ドル	103.5	121.5	120.0

■ASB社の業績推移 (ドル建て)

	単位:百万ドル		
	15/3期 上期実績	16/3期 上期実績	前年同期比
売上高	462	508	10%
事業利益	11	24	122%
	%	2%	5%
総資産	867	825	-5%
有利子負債	310	276	-11%
純資産	269	271	1%

■のれん等

	単位:百万ドル		償却年数
	16/3期 上期 償却額	期末残高	
のれん	4	150	20年
無形固定資産 (償却対象のみ)	3	120	5-30年
合計	7	271	

12. GROHE

通期＝2014年実績まで1月～12月

■無形資産配分

単位：百万ユーロ

	16/3期 確定額 (JGAAP)	償却年数
のれん	1,220	20年/IFRSは 償却なし
商標 (無形固定資産)	1,349	なし
その他無形固定資産	231	6～13年
固定資産・ 在庫等再評価	106	個別判断
合計	2,907	

■貸借対照表（現法ベース）

	2014年 12月末	2015年 9月末
現預金	150	137
売掛債権	190	202
棚卸資産	183	210
その他流動資産	35	28
流動資産合計	558	575
有形固定資産	196	193
無形固定資産	1,440	1,435
その他固定資産	255	10
固定資産合計	1,892	1,638
総資産	2,450	2,213

単位：百万ユーロ

	2014年 12月末	2015年 9月末
買掛債務	125	203
短期借入金	81	94
その他流動負債	269	231
流動負債	475	527
長期借入金	1,062	1,004
その他固定負債	599	554
固定負債	1,661	1,558
負債合計	2,136	2,085
自己資本	313	128

■損益計算書（現法ベース）

単位：百万ユーロ

	2015年 上期実績 (4-9月)	2016年 3月期予想
売上高	692	1,447
調整後EBITDA	121	262
事業利益	92	212
税前当期純利益	71	151
当期純利益	39	112

13. 連結子会社数と持分法適用会社数の推移（日本基準）

	14/06	+	-	14/9	+	-	14/12	+	-	15/03	+	-	15/06	+	-	15/9
連結子会社	126	2	0	128	0	2	126	0	3	123	55	3	175	2	0	177
持分法適用会社	4	0	1	3	1	0	4	1	0	5	3	2	6	0	0	6

■ 新規連結影響額：売上高 451億円、事業利益 101億円

14. のれん

負ののれん

今期は該当なし

正ののれん(その他無形固定資産含まず)

単位:億円

	15/3期 通期実績		16/3期 上期実績		16/3期 通期予想 (日本基準) 償却額
	償却額	残高	償却額	残高	
アメリカンスタンダード AP	2	-	-	-	-
川島織物セルコン	6	7	3	4	6
驪住海尔住建	7	17	13	3	7
ハイビック	3	4	1	3	3
ベルマスティリーザ	34	281	16	247	30
ASB	9	180	5	180	9
スターアルビルド	4	0	-	-	4
GROHE	-	-	20	1,654	41
他	4	5	1	5	1
合計	68	495	60	2,096	101
販管費	65		51		91
特別損失	4		9		9

15. 近年実施したM&A一覧 (日本基準)

海外企業のM&A

単位:億円

実施年月	会社名	狙い	売上規模		取得金額	所有割合	のれん	効果
			取得時	14年度実績				
2009年7月 (一部 2009年11月)	アメリカンスタンダード アジア・パシフィック	衛生陶器(アジア)	235	-	176	100%	のれん 21 知的財産権 35	アジアでの事業プラット フォーム アジア拠点の再編
2011年1月	上海美特カーテン ウォール	ビルサッシ(中国)	120	219	32	75%	5	ビルサッシ中国展開
2011年12月	ベルマスティリーザ	ビルサッシ (グローバル)	1,160	1,982	608	100%	のれん 343 無形固定資産 350	ビルサッシの グローバル展開
2013年8月	アメリカンスタンダード プランズ (ASB)	水回り(北米)	820	999	305	100%	のれん 147 無形固定資産 217	アメリカでの事業プラット フォーム
2013年10月	スターアルビルド	ビルサッシ(インド)	17	6	7	70%	4	インド事業展開
2014年1月 (追加 2015年4月)	GROHE Group	水回り、特に水栓金具 (欧州、グローバル)	1,575	1,653 *1	801	44%→56%	のれん 1,573 無形固定資産 2,093	欧州での事業プラット フォーム
2014年10月	GROHE DAWN WaterTech Holdings	水栓金具、衛生陶器 (アフリカ)	129	146 *2	86	51%	のれん 12 無形固定資産 78	サブサハラ市場への アクセス

*1 グローエは14年度は持分法の対象だが、ここでは2014年12月期(1年間)の売上を記載

*2 見込み

日本企業のM&A

単位:億円

実施年月	会社名	狙い	売上規模		取得金額	所有割合	のれん	効果
			取得時	14年度実績				
2010年4月	新日軽	住宅・ビル用サッシ	1,100	2011年4月 LIXILに統合	0	100%	54	サッシシェア50%超へ コスト削減
2010年4月 (一部09年6月)	サンウエーブ工業	キッチン	850		137	80%→ 13年 100%	-61	キッチン首位へ コスト削減
2011年8月 (一部10年12月)	川島織物セルコン	カーテン等内装材	343 *	304	10/12月 22億円 11/8月 株式交換 比率 1:0.035	100%	17	窓回り等での販売シナ ジー、川島ブランドの活用
2011年10月	ハイビック	木材関連	244	197	株式交換 比率 1:0.094	100%	14	木材・プレカット事業 の強化

*事業分離した自動車等内装事業を除く

日本企業との資本・業務提携

単位:億円

実施年月	会社名	狙い	取得金額	所有割合	効果
2010年12月	レオパレス21	賃貸大手 リフォーム等	18	9%→0%	レオパレス向け 売上拡大
2013年9月	エディオン	家電量販店リフォーム	50	8%	エディオン向け 売上拡大
2013年10月	シャープ	家電と建材を融合させ た新商品開発	50	1%	新商品開発・売上拡大

16. IFRS/JGAAPの主要な会計処理相違点

	JGAAP	IFRS	16/3期上期 事業利益インパクト
連結範囲	重要性基準に基づき連結範囲が判定される	全部連結が原則	JGAP非連結-IFRS連結の子会社分が上積みとなる +50億円
会計期間	最大3ヵ月の決算期のズレは許容される	LIXILグループは3月期決算で統一	12月決算期会社の1-3月分が期ズレとなる +82億円
減価償却	日本国内は主として定率法(税法準拠)	定額法に統一(経済便益の予測消費パターンを反映)	新規設備は償却費減、経過設備は償却費増となる傾向 -3億円
のれん償却	20年以内で償却	償却しないただし、毎期減損テスト実施	のれん償却費がそのままPLインパクトとなる +51億円
退職給付 数理差異	PL費用計上(益は費用マイナス)	その他の包括利益計上	JGAAP費用計上額がPLインパクトとなる -109億円
工事収益	完成基準(一部、進行基準)	原価回収基準(一部、進行基準)	工事収益は期間対応する(進行基準部分は変わらず) -

17. IFRS/JGAAP段階利益 (数字は2016年3月期上期)

IFRSのPLにおいては、段階利益の構造が変更されます。

現状のJGAAPの”営業利益”は、IFRS導入後は”事業利益”として継続管理を行います。

単位:億円
該当金額

JGAAP	IFRS	調整項目
売上高 8,774	売上収益 9,333	
売上原価	売上原価	
売上総利益 2,505	売上総利益 2,722	
販管費 +	販管費 +	
営業利益 320	事業利益 412	JGAAP営業利益 = IFRS事業利益
営業外収益・費用 -55	その他の収益・費用	35 (貸賞収入・貸賞原価・関係会社投資損失・その他営業外収益費用等) -23 (その他 特別利益・損失)
経常利益 266	営業利益	
特別利益・損失	金融収益・費用	5 (受取配当金・受取利息・支払利息・為替差損益) -76 (デリバティブ評価損益等)
税引前利益 -130	持分法投資損益	9 (受取配当金・受取利息・支払利息・為替差損益) -46 (デリバティブ評価損益等)
法人税等	税引前利益	51 (受取配当金・受取利息・支払利息・為替差損益)
当期純利益 -229	当期純利益	4 (持分法投資損益・関係会社投資損失) -360 (持分法投資損益・関係会社投資損失)

特別損益と金融費用・収益を除く営業外損益はIFRS上の営業利益に反映される

報道関係各位

2015年11月2日

上期決算：営業利益が過去最高を記録**LWTの海外業績が好調、国内リフォーム売上が予想を上回る、
通期の営業利益予想を上方修正**

株式会社 LIXIL グループ（本社：東京都千代田区、社長：藤森義明、以下 LIXIL グループ）は、本日、2016年3月期第2四半期決算を発表しました。日本会計基準（JGAAP）に基づき、2015年9月までの第2四半期累計（上期）の連結業績は、GROHEの新規連結と国内リフォーム売上が前年同期比10%増と好調なことから、売上高は前年同期比10%増の8,774億円となりました。営業利益は前年同期比141%増の320億円に達し、上方修正後の業績予想をさらに120億円（当初予想を225億円）上回りました。営業利益率は3.7%でした。IFRS（国際会計基準）では売上高は9,333億円、事業利益¹は412億円、事業利益率は4.4%となりました。

各テクノロジー部門の業績²

LIXIL Water Technology (LWT) は LIXIL、INAX、GROHE、American Standard のグローバルブランドを持ち、すべての地域で増収を達成しました。地域別の増収率は、アメリカ地域が9%、欧州・中東・アフリカ（EMEA）地域が17%（当会計年度から GROHE Dawn Watertechを含む）、アジア太平洋地域が9%（中国市場は7%）、日本が6%です。日本では、リフォーム商材の売上が12%増と増収に貢献したほか、システムバスルーム「SPAGE（スパーージュ）」は引き続き売上が好調です。LWTの売上高は、前年同期比8%増の25億3,800万ドルに達しました。事業利益は前年同期比31%増の2億6,000万ドルで、上期の事業利益率は10%となりました。

LIXIL Housing Technology (LHT) は、売上高こそ前年同期比3%減の2,924億円となりましたが、事業利益は27%増の228億円、事業利益率は8%で大幅増益となりました。事業利益の拡大に大きく貢献した要因としては、製造コストの継続的な削減と高利益率商品の好調な売上が挙げられます。さらに、省エネ住宅ポイント³の追い風を受け、ウィンドウシステム事業本部の売上が第1四半期から好調が続いたほか、高性能ハイブリッド窓「サーモスX」が、2015年グッドデザイン賞を受賞しました。

LIXIL Building Technology (LBT) は Permasteelisa、トステム、新日軽などのブランドを展開し、前年同期比9%増の11億9,600万ユーロを達成しました。Permasteelisaグループの売上高は前年同期比10%増でしたが、事業利益は同5%減でした。増収の中心となった北米地域と英国では、高利益物件の進捗が序盤のため、利益率の改善は今後となります。日本では、都市部での需要回復により上期は黒字回復したものの、LBT全体の事業利益は、中国での大規模開発プロジェクトの休止・遅延に伴う上海美特の業績悪化の影響を受けました。LBTの上期の事業利益は前年同期比10%減の1,800万ユーロでした。

¹ IFRSの事業利益＝売上高－売上原価－販売管理費。日本会計基準の営業利益に相当します。
当社は2016年3月期有価証券報告書より正式にIFRSを導入する予定のため、参考までに記載しています。

² IFRSでの管理会計に基づきます。

³ 省エネ住宅ポイント：環境に配慮した新築住宅・リフォームを奨励する国土交通省の制度

LIXIL Kitchen Technology (LKT) の売上高は、前年同期比 **1%減**の **539 億円**となりました。リフォームが好調なことから、日本での売上高は微増となりましたが、中国の地方都市の需要低迷により、LKT 全体の売上高は微減となりました。事業利益は **9 億円**となり、昨年度の雪害の影響による赤字からの黒字回復となりました。

社長の藤森義明のコメントは以下の通りです。「当社の戦略に基づき、海外事業は明らかに LIXIL の成長の原動力となりつつあります。国内では、リフォーム市場の環境変化に伴い住宅ストックの積極的活用への注目が高まっており、当社も引き続き、この成長分野にリソースを集中させていきます。すべてのテクノロジー部門での厳格な財務管理とコスト管理の向上が、好調な業績に貢献しており、上期の営業利益は当社の過去最高を記録しました。」

その他の重要事項

Joyou の借入金への保証に関連した特別損失などにより親会社株主に帰属する四半期純損失は **229 億円**となりました。Joyou から **49 億円**を回収したことで、損失を一部相殺しました。

上期の業績に基づき、当社は **2016 年 3 月期**通期の業績予想を修正しました。建デポ事業の分社化に伴い JGAAP での予想売上高は、**1 兆 8,700 億円**から修正し **1 兆 8,550 億円**となりますが、これは前期比 **11%の増収**となります。営業利益は、**520 億円**から **620 億円**に上方修正し、前期比では **20%増**となります。